

作成日 2016年02月12日

改訂日 —

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品名： オルガゾール NL
 会社名： オルガノ株式会社
 住所： 東京都江東区新砂 1-2-8
 担当部門： 機能商品事業部
 電話番号： 03-5635-5214
 FAX 番号： 03-3699-7244
 推奨用途及び使用上の制限： 洗浄剤（中和剤）

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性：	爆発物	：分類対象外
	可燃性又は引火性ガス (化学的に不安定なガスを含む)	：分類対象外
	エアゾール	：分類対象外
	支燃性又は酸化性ガス	：分類対象外
	高压ガス	：分類対象外
	引火性液体	：分類対象外
	可燃性固体	：区分外
	自己反応性化学品	：分類対象外
	自然発火性液体	：分類対象外
	自然発火性固体	：区分外
	自己発熱性化学品	：区分外
	水反応可燃性化学品	：区分外
	酸化性液体	：分類対象外
	酸化性固体	：分類できない
	有機過氧化物	：分類対象外
	金属腐食性化学品	：分類できない
健康に対する有害性：	急性毒性（経口）	：区分 5
	急性毒性（経皮）	：分類できない
	急性毒性（吸入：ガス）	：分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	：分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん）	：分類できない
	急性毒性（吸入：ミスト）	：分類できない
	皮膚腐食性及び刺激性	：区分 1
	眼に対する重篤な損傷 又は眼刺激性	：区分 1
	呼吸器感作性	：分類できない
	皮膚感作性	：区分外
	生殖細胞変異原性	：区分外
	発がん性	：分類できない
	生殖毒性	：分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	：区分 2
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	：分類できない
	吸引性呼吸器有害性	：分類できない

環境に対する有害性： 水生環境有害性（急性）：分類できない
 水生環境有害性（長期間）：分類できない
 オゾン層への有害性：分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：危険

危険有害性情報：

- ・重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
- ・臓器の障害のおそれ（呼吸器系）
- ・飲み込むと有害のおそれ

注意書き： 【安全対策】 ・使用前に安全データシート(SDS)を入手し、全ての安全注意を理解するまで取り扱わないこと。

- ・保護手袋／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用すること。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
- ・取扱い後はよく手を洗い、うがいをする。

- 【応急措置】 ・吸入した場合：直ちに空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
- ・飲み込んだ場合：直ちに口をすすぎ水などを飲ませ、無理に吐かせないこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- ・皮膚や衣服に付着した場合：直ちに汚染された衣服をすべて脱ぎ、皮膚を多量の流水／シャワーで洗うこと。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合、異常がある場合：医師の診断／手当てを受けること。

【保管】 ・容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

【廃棄】 ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

【その他】 ・目的用途以外に使用しないでください。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分：混合物
 化学名又は一般名等：次の通り

成分名(別名)	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS No.
			化審法	安衛法	
水	70-80	H ₂ O	—	—	7732-18-5
水酸化カリウム	5 未満	KOH	1-369	公表	1310-58-3
その他	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開

4. 応急措置

吸入した場合：直ちに空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。めまい、吐き気等の異常がある場合には速やかに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣服をすべて脱ぎ、皮膚を多量の流水／シャワーで洗浄する。異常がある場合には速やかに医師の診断を受ける。

目に入った場合：直ちに清浄な水で 15 分以上洗浄し、速やかに医師の手当てを受け

- 飲み込んだ場合 : 洗淨の際は顔を指でよく開いて、すみずみまで水がよく行きわたるように洗淨する。
直ちに口の中を洗淨し、水又は牛乳を飲ませ、速やかに医師の手当てを受ける。無理に吐かせてはならない。意識がない場合は口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 大量の水（噴霧水）、粉末、炭酸ガス、泡等が有効である。
使ってはならない消火剤 : 情報なし
火災時の特有の危険有害性 : 本品自体は不燃性である。
特有の消火方法 : 周辺火災の場合は直ちに容器を安全な場所に移動し、不可能な場合は注水冷却によって容器の温度上昇を防ぐ。
火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
消火を行う者の保護 : 消火作業の際は必ず保護具を着用し、消火活動は風上から行う。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 飛沫等が皮膚に付着しないようにする。
こぼれた場所はすべりやすいために注意する。
保護具及び緊急時措置 : 漏出した場所の周辺は関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、風上より作業を行い、飛沫等が皮膚に付着しないようにする。漏出量が多量の場合には、全身保護服と空気呼吸器を着用して作業を行う。8. 暴露防止及び保護措置を参照のこと。
環境に対する注意事項 : 漏出した製品が直接河川等環境中に排出されないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材 : 通気換気をよくし、出来る限り回収する。回収しきれなかった物については酸で中和した後、多量の水で洗い流す。少量の場合はウェスに吸収させ焼却する。拭き取った箇所は多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
技術的対策 : 眼及び皮膚への接触を避ける。
アルカリ性物質なので金属類、酸性物質との接触を避ける。
局所排気・全体換気 : 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置使用が望ましい。
注意事項 : 漏れ、溢れ、飛散等させない。使用後は容器を密閉する。
容器の転倒、落下等粗暴な扱いをしない。
空容器は適切に管理し又それを処分する場合は残留物のないよう留意する。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
安全取扱い注意事項 : 目、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用する。
緊急時に洗眼及び身体洗淨を行う為の設備を設置する。
酸化剤、金属類（アルミ、亜鉛等）およびその酸化物との接触混合をさける。
保管
技術的対策 : 保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
適切な保管条件 : 容器は直射日光を避け、常温、室内で密封して保管する。流出及び盗難防止処置を講じる。酸性物質とは離して保管する。
（毒物及び劇物取締法の定める保管方法に従う。）
安全な容器包装材料 : ポリエチレン樹脂等

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	:	作業場の換気を行うとともに、局所排気装置を設置する。 作業場近くに安全シャワー、手洗・洗眼設備を設け、位置を明示する。	
管理濃度	:	設定されていない	
許容濃度	:	本製品としての情報なし。以下に含有成分の情報を示す。 (水酸化カリウムとして)	
		日本産業衛生学会	: 2mg/m3 (最大許容濃度)
		ACGIH	: 2mg/m3 (上限値、STEL)
保護具	:	呼吸用の保護具	: 保護マスク
		手の保護具	: ゴム手袋等 (耐アルカリ)
		目の保護具	: 保護ゴーグル
		皮膚及び身体 の保護具	: 不浸透性の保護衣、ゴム長靴等

9. 物理的及び化学的性質

外観	：	無色液体
臭い	：	なし
pH	：	11.8 (1%、25℃)
融点／凝固点	：	データなし
引火点	：	なし
自然発火温度	：	データなし
燃焼又は爆発範囲	：	データなし
蒸気圧	：	データなし
蒸気密度	：	データなし
比重	：	1.23 (25℃)
溶解性	：	水と任意の割合で溶解
オクタノール／水分配係数	：	データなし
分解温度	：	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	：	通常 の取扱い条件においては安定。 開放状態では空気中の二酸化炭素を徐々に吸収する。
危険有害反応可能性	：	強塩基性で酸と反応して、発熱する。 アルミニウム、すず、亜鉛などの金属を腐食して水素ガスを発生し、これが空気と混合して引火爆発する恐れがある。
避けるべき条件	：	高温、強酸、日光、炭酸ガス
混触危険物質	：	金属類 (アルミ、亜鉛等を溶解し、その際に爆発性のある水素ガスを発生する)。酸性物質。
危険有害な分解生成物	：	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	：	本製品としてのデータなし。 混合物としての製品のATEmix 計算値 =3491 mg/kg (経口) 以下に含有成分の情報を示す。 (水酸化カリウム) LD50=273mg/Kg (ラット経口) (RTECS)
皮膚腐食性／刺激性	：	皮膚に重度の火傷を引き起こす。 以下に含有成分の情報を示す。 (水酸化カリウム) ウサギ 50mg/24h 重度(RTECS) ヒト 50mg/24h 重度
眼に対する重篤な 損傷／眼刺激性	：	アルカリ性物質であり、眼に入ると結膜や角膜が腐食され、視力低下や失明するおそれがある。 以下に含有成分の情報を示す。 (水酸化カリウム) ウサギ 1mg/24h 中程度(RTECS) モルモット 50mg/24h 重度
呼吸器感作性 又は皮膚感作性	：	本製品としての情報なし 以下に含有成分の情報を示す。

	(水酸化 カウ)	モネットの試験で陰性(SIDS(2001))の記載があり、 この報告はないが、カウイとヒドヒドイも生 体内に存在するので皮膚感作性の原因とはな らない(SIDS(2001))
生殖細胞変異原性 (変異原性)	：	本製品としての情報なし 以下に含有成分の情報を示す。 (水酸化 カウ)
発がん性	：	本製品としての情報なし 以下に含有成分の情報を示す。 (水酸化 カウ)
特定標的臓器毒性 一単回暴露	：	IARC および NTP のリストに記載されていない。 本製品としての情報なし 以下に含有成分の情報を示す。 (水酸化 カウ)
		粉塵またはミストを吸入暴露すると鼻、気管気 管支に熱傷等の障害を起こし、肺水腫までにい たる。(SIDS(2001))、(ACGIH(2001))、 (PATTY(5th,2001))

12. 環境影響情報

生態毒性	：	水生生物に有害な影響を与える可能性がある。
急性毒性	：	以下に含有成分の情報を示す。 (水酸化 カウ) LD ₅₀ (96h)=80mg/L(Western mosquitofish)

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物として都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託処理する。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処理する。
劇物の廃棄の方法に関する基準に従って処理をする。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	： I M Oの規則に従う。
航空規制情報	： I C A O／I A T Aの規則に従う。
国内規制	
陸上規制情報	： 毒劇 物取締法などの規則に従う。
海上規制情報	： 危規則危険物に該当する。 船舶安全法・危規則に定められている運送方法に従う。
航空規制情報	： 航空法に定められている運送方法に従う。
国連分類	： 8（腐食性物質、包装等級Ⅱ）
国連番号	： 1760： その他の腐食性物質（液体）（他の危険性を有しないもの）
輸送の特定の	： 運搬に際しては梱包材料の破損のない事を確かめ、落下・転
安全対策及び条件	倒・損傷がない様に積み込み、荷くずれの防止を確実に行う事。
緊急時応急措置	： 154
指針番号	

15. 適用法令

消防法	：	非該当
毒劇物取締法	：	非該当 (危害防止の措置を講ずべき毒物等含有物(政令第38条)に該当)
化管法(PRTR法)	：	・第1種指定化学物質：非該当 ・第2種指定化学物質：非該当
労働安全衛生法	：	通知物質：水酸化 カウ=5%未満 腐食性液体(労働安全衛生規則)
危規則	：	腐食性物質

16. その他の情報

- ・本データシートは、製品の安全な取扱いのための情報として、現時点で入手できる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性や完全性を保証するものではありません。
- ・本データシートは、新たな知見に基づき改訂されることがあります。
- ・本データシートは、本製品用途における通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合は用途・用法に則した安全対策を実施してください。
- ・本データシートは日本国内向けに作成したものです。
日本以外で使用する場合は、その国での法律・規制等を確認してください。